

飛魚



第 34 号

令和 5 年 8 月

社会医療法人 義順顕彰会 種子島医療センター

<https://www.tanegashima-mc.jp/>



TANEGASHIMA
MEDICAL CENTER

島民の皆さまに愛され 信頼される病院

私たちは思いやりの心と
技術を研鑽する真摯な姿勢で
豊かな地域医療の向上に努めます

基本方針

1. 地域に根ざし、信頼される病院

- ・誰でも、いつでも安心して利用できる、地域に密着した病院作りをいたします。
- ・救急体制を充実し、24時間対応します。
- ・地域医療機関などとの連携を図り、必要に応じた役割りを果たします。

2. 温もりと思いやりのある医療を提供する病院

- ・各部署の強い連携により温もりのあるチーム医療を行います。
- ・患者様の権利を尊重し、安全医療の推進に努めます。
- ・快適かつ安心して医療を受けられる療養環境を提供いたします。

3. 医療の質を高め、お互いに学び合える病院

- ・医療人として専門知識、技術の研鑽に努めます。
- ・患者様共々学びあい、ニーズに合った地域医療を目指します。

表題「飛魚」：田上悠峯 書

「悠峯」とは、義順顕彰会会長 田上容正が、公益財団法人
日本習字教育財団から命名された雅号です。

表紙について

1543（天文12）年の鉄砲伝来を記念して行われる『種子島鉄砲まつり』は、種子島最大のお祭りです。コロナウイルス流行で縮小・中止となっていましたが、2023年8月20日、4年ぶりの通常開催となりました。第54回となる今年2023年は、種子島に鉄砲が伝来してから480年という大きな節目であり、また久しぶりの祭りということもあり、コロナ禍以前の活気を取り戻したようでした。表紙には、祭りを象徴する火縄銃の試射をはじめ、記念すべき鉄砲祭り復活の様子を掲載しました。

表紙写真：広報企画課 飯田雄治 竹田英子

扉写真：薬剤部 渡辺祥馬

目次 Contents

理念・基本方針

巻頭言	病院長 高尾 尊身	4
理事長挨拶	理事長 田上 寛容	6

病院概要

沿革（「飛魚」の歴史）	10
概要	22
組織図	25
委員会・会議組織図	26
在籍医師紹介	27
職員数	30
病院日誌	31

実績

種子島医療センター 統計資料	37
診療部門	45
診療支援部門	56
へき地医療センター	64
田上診療所	66
わらび苑	68
関連施設	70

寄稿

人類と感染症との闘い	会長 田上 容正	72
地域医療を基軸とした今後の鹿児島県の外科医療	鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科教授 大塚 隆生	73
種子島医療センターで外来診療を始めて	鹿児島大学心臓血管外科教授 曾我 欣治	74
ぜんそく	副院長兼眼科部長 田上 純真	75
鹿児島県医師会会長賞（看護業務功労）受賞に寄せて	看護部長 戸川 英子	78
鹿児島県看護協会会長賞受賞に寄せて	看護部長 戸川 英子	79
種子島医療センターでの研修を終えて		80

部門別紹介

【診療部】

外科（消化器・乳腺甲状腺）	99
呼吸器内科	100
消化器内科	101
眼科	102
泌尿器科	104
脳神経外科	105

小児科	106
耳鼻咽喉科	107
麻酔科	108
皮膚科	109
脳神経内科	110
糖尿病内科	111
ペインクリニック内科	112
心療内科	112
【看護部】	
看護部理念	
看護部長室	114
外来	118
手術室・中央材料室	121
2階病棟（外科・脳外科・整形外科病棟）	122
3階西病棟（内科・眼科・小児科病棟）	124
3階東病棟（地域包括ケア病棟）	126
4階病棟（回復期リハビリテーション病棟）	128
透析室	130
外来化学療法室	132
看護助手室	133
【診療支援部】	
薬剤室	136
中央画像診断室	138
中央検査室	140
臨床工学室	142
栄養管理室	144
リハビリテーション室	146
組織図	148
チーム紹介	149
活動紹介	154
療法士修了書一覧	166
理学療法学科実習生受け入れ一覧	167
地域医療連携室	168
クラーク室	170
【事務部】	
総務課	173
医事課	174
広報企画課	176
【直轄部門】	
医療安全管理室	178
システム管理室	179
感染制御部	181

院内委員会活動	
NST（栄養サポートチーム）委員会	186
緩和ケアチーム	187
看護部教育委員会	188
リスクマネジメント委員会	190
医療安全管理委員会	192
救急チーム	194
摂食嚥下ワーキンググループ	195
転倒転落防止委員会	196
認知症ケアワーキンググループ	197
輸血療法委員会	198
関連施設	
田上診療所	200
訪問リハビリテーション事業所/田上診療所	201
訪問看護ステーション 野の花	203
訪問リハビリテーション事業所/種子島医療センター	204
介護老人保健施設 わらび苑	206
院内保育所	207
活動紹介	
種子島医療センターサーフィン部 TSC	212
種子島医療センターバスケット部 MEDS	213
エクスペローラーズ鹿児島	214
プロテニスプレーヤー 姫野ナル	215
緩和ケア集合研修会報告	217
ポジショニング研修	218
就業体験学習報告/種子島中央高校	219
就業体験学習報告/種子島高校	220
ふれあい看護体験報告	225
医療講座	233
研究・研修	
病院長が選ぶ GOOD JOB 賞	236
病院長学術関連業績	237
医師業績・看護師業績	238
療法士業績・リハビリテーション室研究発表会	239
院内研修会実施状況	240
研修報告書優秀者	242
永年勤続表彰者	246

種子島で 生きる、診る、育む、繋ぐ



社会医療法人義順顕彰会
種子島医療センター
病院長 高尾 尊身

地球から見れば点というよりウイルスのレベルかも知れない極僅かの表面に、私たちは生きている。この極々小さな島で、百年に一度のパンデミックを経験した。三年間の長いコロナ禍の中、私たちは懸命にウイルスと戦ってきたが、院内クラスターも何度か経験した。そして、高齢者の重症化を防ぐため、ギリギリの診療、看護、リハビリの厳しくかつ貴重な経験が、これからの高齢者医療に役立つことを確信している。

このコロナ禍の間に私たちは病院改革を着実に実行してきた。まず、回復リハビリ病棟と地域包括ケア病棟の入院料Ⅰへの取り組みから始めた。結果、余裕でこれをクリアできた。次いで、急性期病棟の7:1看護への切り替えと、入院料Ⅰへの取り組みだ。現在、進行中だが希望が見えている。

今、コロナ禍から何とか脱しようとして、世の中が大きく変わろうとしている。その中で、多くの人が「生きること」の理由や意味を求めているのではないか。医療従事者への一つの答えが種子島にあるのではないか。この島での診療は、患者との距離が近く、全人的医療が体験できる。私たちが目指す適切な医療ができることこそ「しあわせの医療」の第一歩であり、かつ私たちが「生きる」意味なのだ。

救急医療は、種子島医療の中核をなす。すべての救急を受入れるため、すべての医療従事者の協力と努力に支えられて救急医療が成り立っている。この数年、三次救急への繋がりがドクヘリや自衛隊ヘリのお陰でスムーズになってきたことは大きい。そうは言っても、治療開始が遅れることは否めず、搬送にかかる時間が致命的になる場合も多い。したがって、より高度な二次救急が望まれる。脳神経外科を中心にした脳卒中への取り組みで、血栓溶解あるいは血栓除去術などで救命が可能となってきたことは希望の一つである。

我が国の少子化対策が揺れているが、その答えは不安と未知の中にある。生物学者の高橋祥子氏によると、彼女自身が出産して驚いたのは、赤ん坊の「弱さ」だったという。すぐ絶滅する生き物のはずなのだが、集団での育児とゆっくり育てることで脳の発達に15年もかけ知性を伸ばした。結果、人類は人口を増やし地球の覇者となった。つまり、社会全体で子育てすることこそが、少子化対策の第一歩なのだ。

種子島では、本院と種子島産婦人科医院とが連携し、安心して出産し子育てが出来るためにより良い環境の構築を模索している。さらに、発達障害などの子どもたちをサポートする取り組みもすでに始まっている。

小児から高齢者まで、今、私たちの医療が必要とされている。
種子島で生きる、診る、育む、そして繋いでいくために。



2022年度新入職員辞令交付式



2023年3月開催の理事会にて



2023年度新任常勤医の皆さん



猿渡先生を偲ぶ



夜のロケット打ち上げ



エクスプローラーズ
鹿児島表敬訪問



ゴルフコンペ

理事長挨拶

“家族の温もりが何よりの癒やし”



社会医療法人義順顕彰会
種子島医療センター
理事長 田上 寛容

2019年末から始まったコロナ禍でしたが、令和5年5月8日をもって、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行されました。

臨床医として、このコロナ禍の3年間でもっともつらかったのは、入院患者さんへの家族の面会がご希望通りに出来なかったことでした。

「先生、少しでもいいから面会させてくれませんか？」

「最期の時間ぐらいは、一緒に居させてもらえませんか？」

この3年間で何回もご家族の方からお願いされることがありました。検査を重ねることで可能な限りの面会は許可するようにはしていました。それでも十分ではないことは重々承知していましたが、感染のリスクを考えるとやむを得ない状況でした。

種子島には、ご家族が島外にいて、普段は島内で高齢者だけで生活している方が多くおられます。そんな方々が、病気になり入院しても、島外から家族がかけつけることがなかなか出来ない時期がありました。たとえ島外から来ることができても、直ぐに面会できないまま、残念ながら亡くなってしまうこともありました。

入院するという事は、住み慣れた家を離れて、慣れない環境で治療を受けて頂くということでもあります。職員は、患者さんに配慮しながらのお世話を普段より心掛けていますが、入院することは患者さんにとってかなりのストレスを伴うことだと思います。そんなストレスの多いところで、ご家族が面会に来られて手を握ること、ご家族と会話をすることが、入院患者さんにとってどれだけ癒やされることであるかは、医療従事者は十分に理解しており、それが十分に出来ないもどかしさは職員みんなが感じていたと思います。

このコロナ禍で、電話でのやりとりやLINEを利用したのリモート面会など、様々な方法で対処してはいました。しかし、実際に会って、手のぬくもりや息づかいを感じながらの面会とは異なるもので、音声や画面越しでは伝わらないも

のも多くあると感じました。私にとって、やはり家族の温もりこそ何よりの癒やしだということを改めて感じさせられた時期でもありました。

種子島におけるコロナ禍の約3年間は、医療従事者にとって本当に大変な時期であったことは言うまでもありません。特に種子島医療センターは熊毛地区における重点医療機関として大きな役割を果たしてきましたが、その過程は、今思い返しても試行錯誤と苦渋の決断の連続であったと思います。そんな時でも、当法人職員の皆さんの献身的な努力のおかげで、コロナ禍でもこれまでと変わらない医療を提供し続けることができたことは、私にとって最も誇らしいことでした。

最後に、この場を借りて、この3年間に種子島の医療を支えてくれた職員の皆様、また様々な支援を頂いた大学、行政を始めとした、すべての関係者の皆様に心より感謝申し上げたいと思います。

令和4年度も大変な1年でしたが、うれしいこともありました。田上寛容理事長が長年、かかりつけ医として往診してきた101歳の患者さんとの思い出をつづったエッセー「干支のぬいぐるみ」が、日本医師会と読売新聞社が主催する第6回「生命(いのち)を見つめるフォト&エッセー」のエッセー部門一般の部で読売新聞社賞を受賞しました。



令和5年2月16日発売
『読売新聞』に掲載された記事



令和5年3月に広報誌「へいじろう号外」を発行

受賞に際し田上理事長は、「このような素晴らしい賞をいただけるとは望外の喜びですが、私にとって最も嬉しいことは、この物語を全国の方に読んでもらうことで、種子島ならではの医療を広く知っていただけるきっかけを作ることができたということです。」と喜びを語りました。心温まる受賞作品は広報誌「へいじろう号外」に掲載し、配布しました。

病院概要

沿革

概要

組織図

委員会・会議組織図

在籍医師紹介

職員数

病院日誌



沿革

黎明期 1969～1983(昭和44～58)年

1969年、会長田上容正が実家のあったこの場所に「田上容正内科」を建設。種子島の皆様に愛される病院を目指し、13床の診療所からスタート。スタッフも医療機器も足りず、十分な医療設備のない中、島民の命を守る医療を懸命に模索した。

1969(昭和44)年	12月	田上容正内科開院
1980(昭和55)年	2月	人工透析開始
1981(昭和56)年	9月	医療法人容正会設立
1982(昭和57)年	5月	28床になる

発展期 1984～1998(昭和59～平成10)年

「本土並みの医療をいつでも受けられるように」と、医療体制と質の充実を図るため施設を拡張し、高度な医療機器を導入。鹿児島大学病院から医師が派遣されるようになり、ほとんどの外科手術が可能になった。1989(平成元年)年には、創立20周年を記念して院内報『飛魚』を創刊。

1984(昭和59)年	3月	56床病院を新築 全身用CTスキャナ導入
	7月	医療法人義順顕彰会 田上病院設立
1985(昭和60)年	11月	病床数99床になる
1987(昭和62)年		救急告示病院認定
1989(平成元年)	12月	20周年記念 院内誌『飛魚』創刊



院内報「飛魚」創刊号

1990(平成2)年



第2号

1991(平成3)年

7月 介護老人保健施設わらび苑開設
(入所50床、通所10名)



第3号

1992(平成4)年



第4号



第5号

1994(平成6)年

1月 MRI設置
脳神経外科新設
標榜科目8 (内科、外科、整形外科、皮膚科、
小児科、耳鼻咽喉科、理学療法科、
脳神経外科)

2月 病床数202床になる

6月 高気圧酸素治療装置導入

7月 泌尿器科新設
標榜科目9 (内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、
理学療法科、脳神経外科、泌尿器科)



第6号

1995(平成7)年

1月 病床種別変更 (一般病床157床・療養型病床群45床)

3月 わらび苑 痴呆棟開設のため78床に増床
(痴呆20床、一般58床)



第7号

1996(平成8)年

11月 理学療法科をリハビリテーション科へ変更
リウマチ科新設
標榜科目10 (内科、外科、整形外科、皮膚科、
小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテー
ション科、脳神経外科、泌尿器科、
リウマチ科)



第8号

沿革

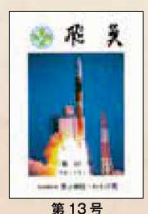
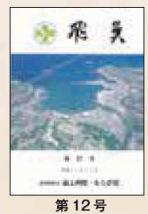
1997(平成9)年	4月	眼科新設 標榜科目11 (内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、リウマチ科、眼科)
	5月	訪問看護ステーション「野の花」開設
1998(平成10)年		院外処方箋運用開始



転換期 1999～2009(平成11～20)年

病棟の再編を重ね、いち早く電子カルテを導入するなど、さらなる充実を目指し、新たな医療に挑む。こうした離島医療への貢献が認められ、当時理事長であった田上容正は2007(平成19)年に医療功労賞、2008(平成20)年に県民表彰を受賞。2009(平成21)年には『飛魚』が院内報から年報誌に。

1999(平成11)年	4月	田上病院院長に田上容祥就任
	6月	理学療法Ⅱ認可
	7月	種子島サンセット車いすマラソン大会に救護ボランティアとして参加
2000(平成12)年	2月	麻酔科、放射線科新設 標榜科目13 (内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、リウマチ科、眼科、麻酔科、放射線科)
	2001(平成13)年	2月
	5月	作業療法Ⅱ認可



2002(平成 14)年

電算室増築

8月

循環器科新設・リウマチ科廃止
 標榜科目13 (内科、外科、整形外科、皮膚科、
 小児科、耳鼻咽喉科、リハビリ
 テーション科、脳神経外科、泌尿器科、
 眼科、麻酔科、放射線科、循環器科)



第 14 号

2003(平成 15)年

2月

オーダーリングシステム稼働 (シーエスアイ)

4月

田上診療所開設 (所長に竹野孝一郎就任)

5月

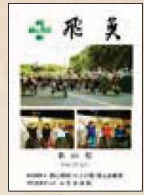
第二種感染病床 2 床、結核モデル病床 2 床 使用許可

6月

病床種別変更 (一般病床157床から202床に
 <うち第二種感染症病床 2 床>・結核モデル病床
 2 床新設・療養型病床群廃止)

8月

病床種別変更 (一般病床202床のうち、回復期
 リハビリテーション病棟36床認可)
 看護支援システム稼働



第 15 号

2004(平成 16)年

1月

電子カルテシステム (診療記録)
 稼働 (シーエスアイ)

5月

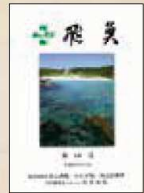
心臓カテーテル検査開始

6月

病院機能評価 複合B認定
 地域リハビリテーション広域支援センター指定

10月

病棟再編
 内科病棟・整形病棟移動



第 16 号

2005(平成 17)年



第 17 号

2006(平成 18)年

4月

病棟再編
 15対 1 入院基本料 (166床)
 結核入院基本料 (2 床)
 回復期リハビリテーション病棟 (36床)



第 18 号

沿革

病院概要

実績

寄稿

部門紹介

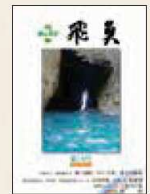
院内委員会

関連施設

活動紹介

研究・研修

2007(平成 19)年	5月	<p>病棟再編 15対 1 入院基本料 (202床) 3階東病棟 回復期リハビリ病棟の取り下げ 3階東病棟、4階病棟移動 結核モデル病床2床</p>
	7月	<p>病棟再編 15対 1 入院基本料 (154床) 結核入院基本料 (2 床) 4階病棟 回復期リハビリテーション病棟 (48床)</p>
	9月	13対 1 入院基本料 (154床)
	11月	10対 1 入院基本料 (154床)
2008(平成 20)年	1月	<p>心療内科新設 標榜科目14 (内科、外科、整形外科、皮膚科、 小児科、耳鼻咽喉科、リハビリ テーション科、脳神経外科、 泌尿器科、眼科、麻酔科、 放射線科、循環器科、心療内科) 田上容正理事長「医療功労賞」受賞</p>
	12月	看護師寮新築
2009(平成 21)年	1月	<p>中央材料室・手術室改築 田上容正理事長「県民表彰(鹿児島県)」 「市民表彰(西之表市)」受賞</p>
2009(平成 21)年	4月	<p>亜急性期病床 8床運用開始 (3階東病棟 8床) DPC請求開始 管理棟新築 呼吸器科新設 標榜科目15 (内科、外科、整形外科、皮膚科、 小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、 脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、 循環器科、心療内科、呼吸器科) 『飛魚』が年報誌に</p>



第 19 号



第 20 号

5月	薬局改築 安全キャビネット・クリーンベンチ導入
6月	「日本医療機能評価Ver5.0」 認定
9月	亜急性期病床12床へ増床（3階東病棟8床、3階西病棟4床）
10月	田上病院開院40周年記念式典

飛躍期 2010～2019(平成22～令和元)年

種子島をはじめ、熊毛医療圏の地域中核病院としての責任を果たすため、社会医療法人として再出発。創立からの目標であった島内完結医療の実現に向け、他の医療施設や介護保険施設と連携を取り、未来を見据えた新しい離島医療に取り組む。

2010(平成22)年

2月	リウマチ科新設 標榜科目16（内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、リウマチ科）
4月	社会医療法人認定、改組 会長に田上容正就任 理事長に田上寛容就任
6月	副院長に田上純真就任
8月	ハイケアユニット4床設置（2階病棟） 鉄砲まつり手踊り参加
12月	「鹿児島県がん診療指定病院」指定



第21号

2011(平成23)年

4月	消化器内科新設 標榜科目17（内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、リウマチ科、消化器内科）
----	--



第22号

沿革

2012(平成 24)年	8月	新電子カルテシステム稼働 (ソフトウェア・サービス)	
	9月	亜急性期病床16床へ増床 (3階東病棟12床、3階西病棟4床)	
	11月	ハイケアユニット4床廃止	
2013(平成 25)年	1月	介護保険訪問リハビリ開設	
	4月	亜急性期病床20床へ増床 (2階病棟8床、 3階東病棟8床、3階西病棟4床)	
	5月	320列CT導入 MRI更新 検査室、小児科周り改修工事	
2014(平成 26)年	1月	X線TV装置 (X線透視装置) 更新	
	2月	生化学検査機器更新 自動精算機1、2号機更新	
	3月	DMAT隊結成	
	4月	副会長に田上容祥就任 病院長に高尾尊身就任 副院長に山口智代子就任	
	8月	放射線室内ネットワーク機器更新	
	9月	検査画像統合システム・放射線情報管理システム更新	
	10月	亜急性期病床廃止 遠隔医療支援システム (SCOPIA) 稼働	
	12月	自動分包機稼働	
	2015(平成 27)年	1月	病棟再編 3階東病棟 地域包括ケア病棟42床



第23号



第24号



第25号



第26号

4月	<p>脳神経外科医師の非常勤体制開始 (常勤医不在)</p> <p>へき地診療支援センター開設 (センター長に猿渡邦彦就任)</p> <p>法人事務局長に羽生守彦就任</p> <p>肝臓内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、神経内科、 消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科新設</p> <p>標榜科目25 (内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、 麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、 リウマチ科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、 血液内科、糖尿病内科、神経内科、消化器外科、 肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科)</p>
5月	<p>遠隔病理診断システム導入</p> <p>末血検査機器更新</p> <p>医師住宅5棟完成(松島)</p> <p>ステラッド滅菌器更新</p> <p>ペインクリニック内科新設</p> <p>標榜科目26 (内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、 麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、 リウマチ科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、 血液内科、糖尿病内科、神経内科、消化器外科、 肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科、 ペインクリニック内科)</p>
6月	鼻用手術装置導入
7月	<p>田上診療所休診(8月末まで)</p> <p>耳鼻科手術開始</p>
8月	<p>回転用X線撮影装置更新</p> <p>外科用X線テレビシステム更新</p>
9月	病理解剖1例目実施
10月	脳神経外科 常勤医師による診療開始

沿革

2016(平成 28)年

1月 無停電源装置更新

3月 結核病棟の陰圧工事

4月 病院名を種子島医療センターに変更
 病院長補佐に花園幸一外科部長、北園和成内科部長を任命
 看護局長に山口智代子就任
 看護部長に戸川英子就任

5月 「地域がん診療病院」指定(厚生労働省)
 がんサロン「サロン種子島」開設
 医師住宅(単身赴任者用)2棟完成(松島)
 眼底撮影システム一式更新

8月 全自動散剤分包機(Sinngle-R93Z II)更新

9月 病院内空調機更新
 訪問リハビリテーションを訪問看護ステーション「野の花」に編入

10月 鹿児島県行政視察(県議会環境厚生委員会)

12月 超音波診断装置ARIETTA70更新
 生体情報モニターシステム(オムロンV7000)更新

2017(平成 29)年

1月 種子島医療センター病院祭

2月 病理解剖2例目実施

3月 医師住宅2棟完成

4月 わらび苑施設長に猿渡邦彦就任

5月 鹿児島県総合防災訓練参加(DMAT隊)

7月 内視鏡室改修および内視鏡システム更新

9月 ベッド更新10台

10月 「日本ヒト細胞学会学術集会 in 種子島」開催(大会会長 高尾尊身病院長)
 DMAT訓練に参加



第27号



第28号

2018(平成 30)年

- 3月 平成29年度西之表市災害対策訓練参加
医師住宅 2 棟完成
- 4月 わらび苑施設長 猿渡邦彦 種子島医療センターへ異動
わらび苑施設長に池村紘一郎就任
ベッド更新50台
看護師特定行為研修者養成開始 (2名を鹿児島大学へ派遣)
- 6月 IABP装置導入
「Life on the long board 2nd wave」映画撮影
- 7月 ベッドサイドモニター 2 台
人工呼吸器 2 台増設
- 8月 副病院長に濱之上雅博就任
眼科用検査機器一式更新
鉄砲まつり手踊り参加
救急自動車導入
- 9月 「ジロ・デ・種子島2018」サイクリング大会救護支援
- 10月 種子島医療センター看護PR大使に松原奈佑さん (女優) を任命
- 11月 病理解剖 3 例目実施
電話機交換、配線工事
厨房床改修工事
日本病院機能評価機構による病院機能評価 受審
病院近隣土地の購入 (1,940.86㎡)



第 29 号

2019(平成 31/令和元年)年

- 1月 社会医療法人に係る実地検査 (鹿児島県)
- 3月 駐車場拡張工事
- 4月 鹿児島大学に寄付講座「心血管病予防分析学講座」設置
事務部に広報企画課設置
- 5月 病院機能評価 (3rdG : Ver. 2.0) 「一般病院 2」認定



第 30 号

沿革

2020(令和2)年

- 3月 法人事務局長 羽生守彦氏 辞職
- 4月 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、入院患者への面会制限開始
- 7月 発熱・接触者外来（簡易診察室）設置・稼働開始
モバイルリアルタイムPCR装置導入
行政合同(保健所・1市2町)での新型コロナウイルス対策本部設置
新型コロナウイルス感染症患者の搬送訓練実施（合同訓練）
- 8月 HER-SYS稼働開始
通信機器を用いたオンライン面会開始
eラーニングシステムを用いた院内研修開始
- 11月 新型コロナウイルス感染症等入院病床 協力医療機関指定



第31号

2021(令和3)年

- 1月 職員宿舎建設予定地購入 (1,208㎡)
- 2月 新型コロナウイルス感染症等入院病床 重点医療機関指定
法人看護局長 山口智代子氏 退任
- 3月 モバイルリアルタイムPCR装置2台目導入
医療従事者への新型コロナワクチン接種1回目実施
田上診療所院長 竹野孝一郎氏 辞職
- 4月 医療従事者への新型コロナワクチン接種2回目実施
田上診療所院長 岩元二郎氏 就任
- 5月 職員宿舎建設着工
- 6月 病院北側駐車場新設
3階西病棟トイレ大規模改修工事
ベッドパンウォッシャー4台導入
- 8月 2階病棟多目的トイレ オストメイト改修工事

2021(令和3)年

10月 職員宿舎（スカイブルーハイツ）2棟 完成

12月 医療従事者への新型コロナワクチン接種3回目実施
2階、3階ロビー大規模改修工事
わらび苑施設長 池村紘一郎氏 辞職



第32号

2022(令和4)年

1月 わらび苑施設長 猿渡邦彦氏 就任

3月 わらび苑施設長 猿渡邦彦氏 辞職
救急チーム結成

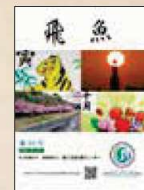
5月 わらび苑施設長 松本松昱氏 就任

6月 3階西病棟空調機器更新

8月 医療従事者への新型コロナワクチン接種4回目

9月 全自動化学発光酵素免疫測定装置
(AIA-CL1200ST)導入

10月 X線骨密度測定装置 (Horizon C) 導入



第33号

2023(令和5)年

2月 外科用X線テレビシステム (OPESCOPE ACTENO) 導入
許可病床数変更 204床 → 188床
2階病棟 55床 → 47床
3階西病棟 59床 → 51床

4月 入院基本料区分変更
急性期一般入院料4 → 急性期一般入院料1

概 要

- 1) 名 称 社会医療法人 義順顕彰会 種子島医療センター
- 2) 所 在 地 〒 891-3198
鹿児島県西之表市西之表 7463 番地
- 3) 電話・FAX 電話：0997-22-0960 FAX：0997-22-1313
- 4) メールアドレス master@tanegashima-mc.jp
- 5) ホームページ http://www.tanegashima-mc.jp
- 6) 開 設 者 社会医療法人 義順顕彰会
- 7) 管 理 者 高尾 尊身
- 8) 診 療 科 目 内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科
〔26 科〕
眼科、リハビリテーション科、麻酔科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科
耳鼻咽喉科、放射線科、呼吸器内科、心療内科、神経内科、血液内科
糖尿病内科、肝臓内科、腎臓内科、ペインクリニック内科、消化器外科
肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科
- 9) 病 床 数 204床（うち3階西病棟に感染症病床2床） 令和5年1月まで

病 棟 名	主 診 療 科	病 床 数	4 床 室	2 床 室	1 床 室
2 階 病 棟	外 科 整 形 外 科 脳 神 経 外 科	55(47)	11(9)	3	5
3 階 西 病 棟	内 科 小 児 科 眼 科	59(51)	12(9)	3(5)	5
3 階 東 病 棟	地 域 包 括 ケ ア	42	7	4	6
4 階 病 棟	回 復 期 リ ハ ビ リ	48	9	3	6
合 計		204(188)	39	13	22

10) 指定種別

() は令和5年2月以降

① 保険・公費負担医療機関

- 感染症指定医療機関（第二種）
- 感染症指定医療機関（結核）
- 労災保険指定医療機関
- 指定自立支援医療機関（育成医療）
- 指定自立支援医療機関（更生医療）
- 指定自立支援医療機関（精神通院医療）
- 生活保護指定医療機関
- 特定疾患治療研究事業委託医療機関
- 小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
- 肝炎治療特別促進事業指定医療機関
- 戦傷病者特別援護法指定医療機関
- 原子爆弾被害者医療指定・原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関
- 新型コロナウイルス感染症重点医療機関

② 病院機能

- D P C 対象病院
- へき地医療指定病院
- 災害拠点病院
- D M A T 指定病院

救急告示病院Ⅱ類（救急指定二次）
 S A R S 受入医療機関
 エイズ治療・協力病院
 地域がん診療病院
 難病医療指定協力医療機関
 特定健診委託医療機関
 結核予防法指定病院
 結核ハイリスク者健診事業受託医療機関
 人間ドック契約病院
 ATL 検査委託実施医療機関
 肝炎診療専門医療機関
 消化器がん検診精密検査実施協力医療機関
 大腸がん検診精密検査実施協力医療機関
 肺がん検診精密検査実施協力医療機関
 乳がん検診業務委託医療機関
 予防接種相互乗り入れ医療機関
 日本整形外科学会認定研修施設
 日本麻酔学会麻酔科認定病院
 臨床研修関連病院
 日本外科学会外科専門医制度関連施設
 日本消化器内視鏡学会連携施設
 地域リハビリテーション広域支援センター
 理学療法士臨床実習指導施設
 作業療法士臨床実習指導施設
 日本内科学会認定医教育関連病院
 日本がん治療認定医機構認定研修施設
 日本肝臓学会肝臓専門医特別連帯施設

11) 施設基準

① 基本診療料の施設基準

第 309 号	一般病棟入院基本料（急性期一般入院料 4）
第 14 号	救急医療管理加算
第 9 号	診療録管理体制加算 1
第 12 号	医師事務作業補助体制加算 1
第 3 号	急性期看護補助体制加算（25対1 看護補助者 5 割以上）
第 85 号	療養環境加算
第 461 号	重症者等療養環境特別加算
第 25 号	栄養サポートチーム加算
第 57 号	医療安全対策加算 2
第 32 号	感染防止対策加算 1
第 37 号	後発医薬品使用体制加算 2
第 21 号	データ提出加算
第 211 号	入退院支援加算
第 56 号	認知症ケア加算
第 52 号	せん妄ハイリスク患者ケア加算

② 特定入院料

第 11 号	小児入院医療管理料 5
第 28 号	回復期リハビリテーション病棟入院料 1
第 48 号	地域包括ケア病棟入院料 1

③ 特掲診療料の施設基準

- 第 153号 がん性疼痛緩和指導管理料
- 第 41号 がん患者指導管理料イ
- 第 34号 がん患者指導管理料ロ
- 第 23号 小児科外来診療料
- 第 23号 二次性骨折予防継続管理料 1
- 第 25号 二次性骨折予防継続管理料 2
- 第 46号 二次性骨折予防継続管理料 3
- 第 40号 救急搬送看護体制加算
- 第 3号 外来腫瘍化学療法診療料 1
- 第 345号 ニコチン依存症管理料
- 第 21号 がん治療連携計画策定料
- 第 2号 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
- 第 168号 薬剤管理指導料
- 第 66号 医療機器安全管理料 1
- 第 13号 在宅患者訪問看護指導料
- 第 99号 検体検査管理加算 (I)
- 第 47号 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- 第 28号 ヘッドアップティルト試験
- 第 93号 神経学的検査
- 第 187号 コンタクトレンズ検査料 1
- 第 17号 小児食物アレルギー負荷検査
- 第 288号 CT撮影及びMRI撮影
- 第 21号 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 第 93号 外来化学療法加算 1
- 第 61号 無菌製剤処理料
- 第 56号 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)
- 第 96号 運動器リハビリテーション料 (I)
- 第 134号 呼吸器リハビリテーション料 (I)
- 第 49号 がん患者リハビリテーション料
- 第 14号 認知療法・認知行動療法 1
- 第 81号 人工腎臓
- 第 69号 導入期加算 1
- 第 3号 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- 第 80号 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- 第 38号 大動脈バルーンポンピング法 (IABP法)
- 第 41号 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
- 第 17号 輸血管理料 II
- 第 2号 輸血適正使用加算
- 第 26号 人工肛門・人口膀胱造設術前処置加算
- 第 22号 胃ろう造設時嚥下機能評価加算
- 第 101号 麻酔管理料 (I)
- 第 16号 保険医療機関間の連携による病理診断
- 第 6号 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製

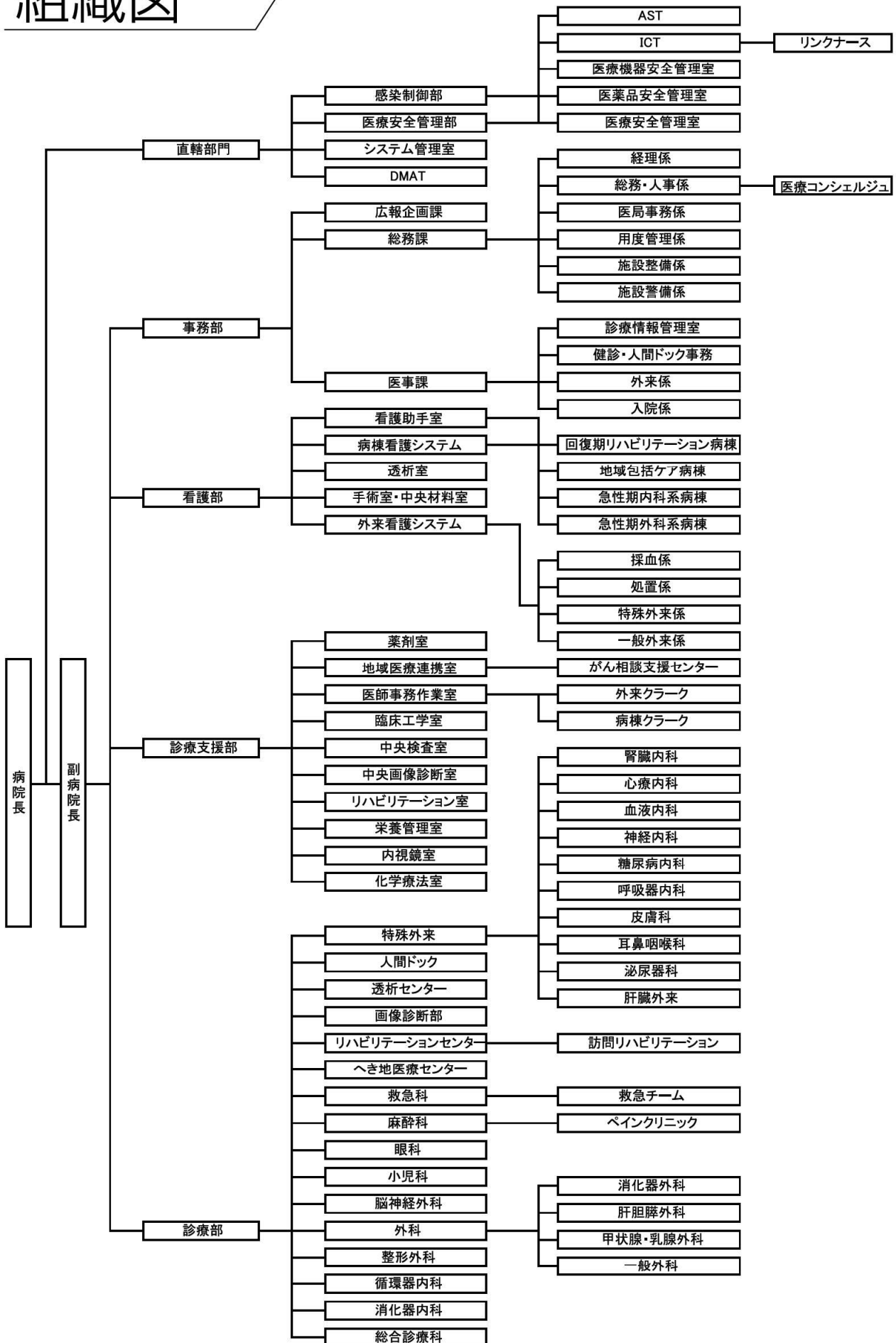
④ 入院時食事療養及び入院時生活療養

- 第 335号 入院時食事療養 (I) ・入院時生活療養 (I)

⑤ その他の施設基準

- 第 42914号 酸素の購入単価

組織図



病院概要

実績

寄稿

部門紹介

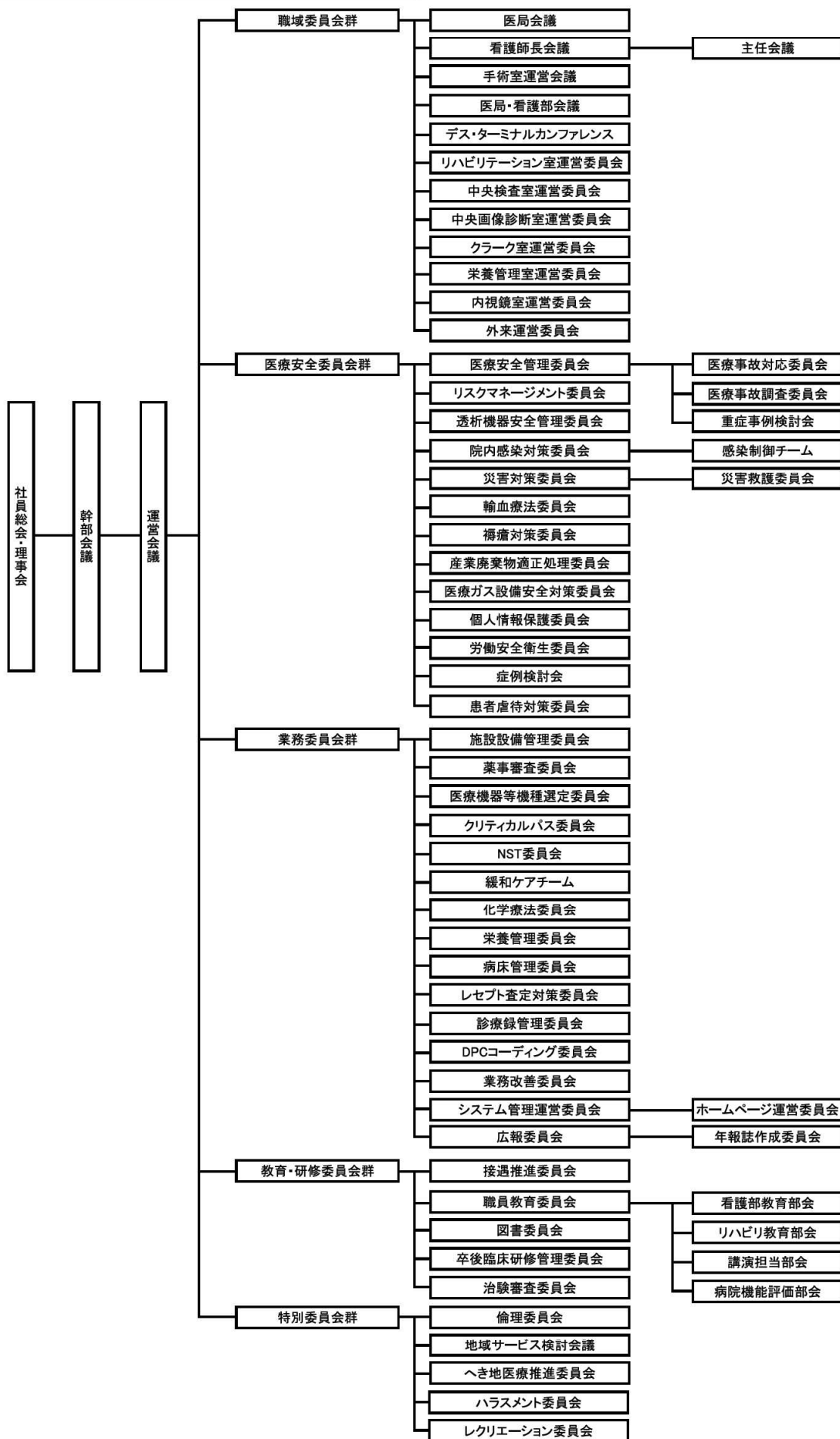
院内委員会

関連施設

活動紹介

研究・研修

委員会・会議組織図



病院概要

実績

寄稿

部門紹介

院内委員会

関連施設

活動紹介

研究・研修

在籍医師紹介

(2023年4月現在)



社会医療法人義順顕彰会 会長

田上 容正

専門分野
内科一般
所属学会
日本内科学会



種子島医療センター理事長

田上 寛容

専門分野
内科一般、循環器疾患
所属学会
日本内科学会
日本プライマリ・ケア学会



種子島医療センター病院長

高尾 尊身

専門分野
外科一般、消化器外科、肝胆膵外科、消化器がん
所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本消化器病学会
日本肝胆膵外科学会
日本ヒト細胞学会
日本癌学会
日本癌治療学会

内科・総合 診療科



診療科医長

島田 紘一

専門分野
内科一般、消化器内科
所属学会
日本内科学会
日本臨床内科医会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会

循環器内科



循環器内科部長

川島 吉博

専門分野
内科一般、循環器疾患
所属学会
日本内科学会
日本循環器学会



循環器内科医長

下園 夏帆

専門分野
循環器内科
所属学会
日本内科学会
日本循環器学会



西 晴香

専門分野
内科一般、循環器疾患
所属学会
日本内科学会
日本循環器学会

(2022年4月～2023年3月在籍)

外科



種子島医療センター副院長

濱之上 雅博

専門分野
外科一般、消化器外科、
肝胆膵外科、消化器がん
所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本消化器病学会
日本肝臓学会
日本肝胆膵外科学会



外科主任部長

大久保 啓史

専門分野
消化器外科(上部消化管)
所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本臨床外科学会
日本内視鏡外科学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会
日本胃癌学会



消化器外科部長

佐竹 霜一

専門分野
消化器外科
所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本内視鏡外科学会
日本胃癌学会
日本大腸肛門病学会



飯尾 俊也

専門分野
消化器外科
所属学会
日本外科学会
日本消化器外科学会
日本臨床外科学会
日本内視鏡外科学会
(2022年10月～2023年3月在籍)

病院概要

実績

寄稿

部門紹介

院内委員会

関連施設

活動紹介

研究・研修

在籍医師紹介

病院概要

実績

寄稿

部門紹介

院内委員会

関連施設

活動紹介

研究・研修

整形外科



整形外科部長

瀬戸山 傑

専門分野
外傷、骨折
所属学会
日本整形外科学会
日本骨折治療学会
日本股関節学会



整形外科主任医長

岩崎 正大

専門分野
一般整形
所属学会
日本整形外科学会



整形外科医長

岩下 稜

専門分野
一般整形
所属学会
日本整形外科学会



黒島 知樹

専門分野
一般整形
所属学会
日本整形外科学会
日本脊椎脊髄病学会
(2021年4月~2023年3月在籍 整形外科医長)

脳神経外科



澤園 啓明

所属学会
日本整形外科学会
(2021年4月~2023年3月在籍)



脳神経外科部長

駒柵 宗一郎

専門分野
脳神経外科全般
所属学会
日本脳神経外科学会
日本脳神経血管内治療学会
日本脳卒中学会



脳神経外科医長

山中 彩衣

専門分野
脳神経外科
所属学会
日本脳神経外科学会

眼科



山岸 正之

所属学会
日本脳神経外科学会
日本脳神経血管内治療学会
日本脳卒中学会
(2021年4月~2023年3月在籍)



種子島医療センター 副院長 / 眼科部長

田上 純真

専門分野
眼科全般
所属学会
日本眼科学会

小児科



田上診療所院長 / 小児科部長

岩元 二郎

専門分野
小児科全般、発達障害
所属学会
日本小児科学会
日本小児救急医学会
日本外来小児科学会



小児科医長

三浦 希和子

専門分野
小児科
所属学会
日本小児科学会
日本周産期・新生児医学会
日本小児内分泌学会
日本内分泌学会
日本新生児生医学会



井無田 萌

専門分野
小児科
所属学会
日本小児科学会



森山 瑞葵

専門分野
小児科
所属学会
日本小児科学会
(2021年4月~2023年3月在籍 小児科副医長)

在籍医師紹介

消化器内科



消化器内科部長

宮田 尚幸

専門分野
消化器疾患
所属学会
日本内科学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会



消化器内科医長

松元 琢真

専門分野
消化器疾患
所属学会
日本内科学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会



消化器内科医長

篠原 宏樹

専門分野
消化器疾患
所属学会
日本内科学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会
日本炎症性腸疾患学会
日本消化管学会
(2021年4月～2023年3月在籍 消化器内科部長)



消化器内科医長

田平 悠二

専門分野
消化器疾患
所属学会
日本内科学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会
(2022年4月～2023年3月在籍)

泌尿器科



泌尿器科部長

中目 康彦

専門分野
泌尿器科一般、透析
所属学会
日本泌尿器科学会
日本透析医学会

呼吸器内科



呼吸器内科科長

松山 崇弘

専門分野
呼吸器内科
所属学会
日本内科学会
日本呼吸器学会
日本結核病学会
日本呼吸器内視鏡学会
日本アレルギー学会

糖尿病内科



糖尿病内科科長

久保 智

専門分野
糖尿病内科
所属学会
日本内科学会
日本内分泌学会
日本糖尿病学会
日本甲状腺学会
日本超音波学会



糖尿病内科医長

地頭蘭 公宏

専門分野
糖尿病内科
所属学会
日本糖尿病学会
日本内分泌学会
日本内科学会



糖尿病内科医長

中村 香織

専門分野
糖尿病内科、内分泌
所属学会
日本内科学会
日本糖尿病学会
日本内分泌学会
(2022年10月～2023年3月在籍)

麻酔科



麻酔科部長 / 麻酔科標榜医

高山 千史

専門分野
麻酔科全般
所属学会
日本麻酔科学会



麻酔科医長 / 麻酔科標榜医

多田 直綱

専門分野
麻酔全般、区域麻酔
所属学会
日本麻酔科学会
日本ペインクリニック学会
日本区域麻酔学会

職員数

Tanegashima Medical Center Annual Report 2023

(各年度4月1日現在) 単位：人

	H29年度		H30年度		H31年度		R2年度		R3年度		R4年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
医師	21		19		20		19		21		23	
看護師	(計175)	(計27)	(計174)	(計22)	(計171)	(計25)	(計166)	(計27)	(計163)	(計29)	(計151)	(計32)
正看護師	82	12	89	7	96	9	94	7	93	8	79	8
准看護師	43	5	39	4	35	4	31	4	29	3	27	5
看護助手	34	7	33	8	28	9	32	10	32	11	33	12
クレーク	16	3	13	3	12	3	9	6	9	7	12	7
薬剤師	4	1	5	0	5	0	5	0	4	1	4	0
放射線技師	6	0	8	0	7	0	7	0	8	0	9	0
臨床検査技師	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1
リハビリテーション室	(計54)	(計1)	(計62)	(計1)	(計64)	(計1)	(計64)	(計2)	(計68)	(計1)	(計59)	(計1)
理学療法士	27	1	32	1	38	1	37	2	42	1	35	1
作業療法士	16	0	20	0	19	0	19	0	19	0	18	0
言語聴覚士	9	0	7	0	4	0	5	0	6	0	6	0
あん摩指圧	2	0	3	0	3	0	3	0	1	0	0	0
臨床工学技士	8	0	10	0	10	0	10	0	9	0	7	0
管理栄養士	2	0	2	0	4	0	4	0	3	0	3	0
医事課	(計13)	(計10)	(計11)	(計11)	(計10)	(計12)	(計10)	(計12)	(計13)	(計11)	(計10)	(計11)
" (入院)	4	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0
" (外来)	9	3	8	4	7	6	7	6	10	4	7	4
" (フロア)	0	5	0	5	0	4	0	4	0	4	0	4
" (電話)	0	2	0	2	0	2	0	3	0	3	0	3
医療情報管理	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
システム管理室	1	0	1	0	1	0	1	0	4	0	3	0
地域医療連携室	2	0	2	0	2	0	2	0	3	0	3	0
事務室	7	1	10	1	10	1	9	1	11	1	9	2
庶務	3	4	3	7	3	8	3	6	3	6	3	6
用度管理室	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	1
保育所	5	1	5	1	3	2	3	2	3	3	3	1
その他	6	4	5	3	7	3	7	3	7	3	7	4
合計	315	50	325	47	325	53	318	55	328	56	302	60

年	月	日	内 容	
令和4年	4	1	新入職員入社式	
		1~30	研修医受入（鹿児島大学病院 1名、福岡大学病院 1名）	
		1~5/30	研修医受入（鹿児島大学病院 1名）	
		22	Web講演『腸呼吸(EVA)法を用いた新しい呼吸不全治療の試み』 東京医科歯科大学統合研究機構 武部 貴則教授	
	4	26	第47回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 高田 倫先生(鹿児島大学病院) 藤木 健太郎先生(福岡大学病院)	
		5	1~7/30	研修医受入（福岡大学病院 1名）
			9	感染防止対策向上地域連携カンファレンス
			10	「へいじろう」2022春 第61号発刊
	26		第48回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 山里 美妃先生(鹿児島大学病院)	
	6	1~7/31	医療安全研修会eラーニング 『造影検査のリスクマネジメント』 講師：画像診断室 田上 直生	
		6~26	研修医受入（済生会 松山病院 1名）	
		20	鹿児島県医師会長賞「看護業務功労賞」受賞 射場 和枝、西田 ひずり	
		20	救急チーム勉強会 『脳梗塞初期対応』 講師：脳神経外科・救急チーム医長 山岸 正之先生	
		22	「鹿児島県看護協会会長賞」受賞 平園 和美	
		23	第49回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 稲垣 遼先生（済生会 松山病院）	
	7	1~30	研修医受入（鹿児島医療センター 2名、済生会 松山病院 1名）	
7		めいろうこども園 七夕飾り贈呈		
7		地域がん診療病院がん医療従事者研修事業 『終末期医療の充実をめざして～DNAR指示について考える～』 講師：緩和ケア認定看護師 丸野 嘉行		
11		西之表保健所・熊毛地区医師会・1市2町行政合同新型コロナウイルス対策会議		
17		古田・国上小 遠泳大会（医師派遣）		
21		第50回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 永仮 優樹先生（鹿児島医療センター） 横田 航士先生（鹿児島医療センター） 石崎 晴也先生（済生会 松山病院） 當銘 晋作先生（福岡大学病院）		
22		西之表市教育委員会主催：浦田遠泳大会（医師派遣）		
23		ふれあい看護体験（種子島高校生7名）		

病院日誌

年	月	日	内 容	
令和4年	8	1	「へいじろう」2022夏 第62号発刊	
		1～30	研修医受入（福岡大学病院1名、北海道大学病院1名、鹿児島市医師会病院1名） ストレスチェック実施	
		24	第51回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 濱田 萌先生（福岡大学病院） 山本 早姫先生（北海道大学病院） 久保 敏大先生（鹿児島市医師会病院）	
		27、28	第32回 鹿児島県作業療法学会 学会長 酒井 宣政（種子島医療センター作業療法士 室長） 実行委員長 濱添 信人（種子島医療センター作業療法士 副室長）	
			30	西之表市主催：魅力体験イベント&就活ツアー(Web対談)
	9	1～30	研修医受入（福岡大学病院1名、北海道大学病院1名、鹿児島医療センター2名）	
		12	感染防止対策向上地域連携カンファレンス	
		20	院内講演会・退職講演 外科 吉野 春一郎先生 整形外科 前田 昌隆先生	
		23	西之表市主催：魅力体験イベントモニターツアー(病院見学)	
		26～30	職員健診実施	
		26	第52回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 城間 将人先生（福岡大学病院） 加地 紫苑先生（北海道大学病院） 西中間 祐希先生（鹿児島医療センター） 甲斐 祐介先生（鹿児島医療センター）	
		30	年報誌「飛魚」第33号発刊	
	10	3～30	研修医受入（福岡大学病院1名、鹿児島大学病院1名、鹿児島医療センター2名）	
		12～14	種子島中央高等学校就業体験学習 2名	
		14	院内感染勉強会 『“あえて今”抗菌薬適正使用について考える』～世界の状況からこれからの診療まで～ 講師：薬剤部主任 濱口 匠	
		19～21	種子島高等学校就業体験学習 10名	
		21～23	「種子島西之表市×スカロケ移住推進部 島暮らし！仕事マッチングツアー」 プレゼン：戸川看護部長、竹之内副看護部長 西之表市経済観光課主催	
		25	院内保育所ハロウィン訪問	
		25	第53回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 安元 悠二先生（福岡大学病院） 緒方 将人先生（鹿児島大学病院） 大村 元春先生（鹿児島医療センター） 庄 亮真先生（鹿児島医療センター）	
		27	がん化学療法講演会in種子島 ZOOM配信 【特別講演Ⅰ】 座長：副院長 濱之上 雅博先生 『がん薬物療法における看護師の役割～コロナ禍での当院の取り組み～』 演者：がん化学療法看護認定看護師 山之内 信 【特別講演Ⅱ】 座長：病院長 高尾 尊身先生 『肺癌化学療法の現状～副作用対策も含めて～』 演者：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器内科学 特任准教授 水野 圭子先生	
		28	院内保育所 親子参観	

病院概要

実績

寄稿

部門紹介

院内委員会

関連施設

活動紹介

研究・研修

年	月	日	内 容
令和4年	11	1	「へいじろう」2022秋 第63号発刊
		1~12/17	医療安全研修会eラーニング 『診療用放射線の安全利用のための研修』 講師：画像診断室
		2	医療安全対策地域連携加算にかかる相互評価 評価実施施設：公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院
		1~29	研修医受入（福岡大学病院1名）
		7~30	医療安全研修会eラーニング 『人工呼吸器勉強会』 講師：臨床工学技士 上妻 優美
		14~12/14	医療安全研修会eラーニング 『リハ室 指さし呼称の取り組み』 講師：リハビリテーション室 山口 純平
		17	地域がん診療病院がん医療従事者研修 『30分でザックリつかむ大腸癌の抗がん剤』 講師：副看護部長 がん化学療法看護認定看護師 山之内 信
		23	緩和ケア研修会（PEACE）
		26	誤嚥予防と食事の自立を目指したポジショニング研修 『ポジショニング・食事介助の演習』 講師：POTTプロジェクト代表 日本赤十字広島看護大学名誉教授 迫田 綾子先生 演習サポート：NPO法人メッセージャーナースかごしま 代表理事 田畑 千穂子先生
		28	第54回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 田中 理司先生（福岡大学病院）
		30,12/9,21	Web病院説明会 『島で得る成長』 副看護部長・診療看護師 竹之内 卓
12	12	1~30	研修医受入（福岡大学病院1名、鹿児島市医師会病院1名） 院内研修eラーニング 『骨粗しょう症について学びましょう』 講師：事務長 白尾 隆幸
		1~31	医療安全研修会eラーニング 『2022年版 MRI検査安全管理対策講習』 講師：画像診断室 田上 直生
		3	避難訓練・消火訓練実施
		7	イルミネーション点灯式
		8	種子島高校職業講話参加 鯨島 昇樹、赤木 秀晃
		12	感染防止対策向上地域連携カンファレンス
		16	サロン種子島・クリスマス音楽会 ピアノ演奏：めいろうこども園 音楽教諭 池田 栄子先生
		17	西之表市主催：魅力発見&就活ツアー(病院見学)
		19	西之表保健所・熊毛地区医師会・1市2町行政合同新型コロナウイルス対策会議
		24	院内保育所クリスマス病院訪問
		26	第55回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 安田 勇先生（福岡大学病院） 久保 敏大先生（鹿児島市医師会病院）
		29	仕事納め
		令和5年	1
4~31	研修医受入（福岡大学病院1名）		
5	永年勤続者表彰（14名）		
10、17	院内感染勉強会 『針刺し予防対策について』～過去5年の振り返りと針刺し直後の初期対応～ 講師：感染管理認定看護師 下江 理沙		
19	院内研修会 『ハラスメントについて～ハラスメント対策を考える～』 講師：株式会社Lamp 保健師 上野 多吉子先生		
26	救急チーム勉強会 『小児の救急外来』 講師：小児科 井無田 萌先生		
27~2/10	医療安全啓蒙活動「第2回 指さし確認ポスター総選挙」開催 1位：外来 2位：2階病棟 3位：4階病棟		
30	第56回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 藏内 稔裕先生（福岡大学病院）		

病院日誌

年	月	日	内 容
令和5年	2	1	「へいじろう」2023冬 第64号発刊
		3、10	院内感染勉強会 『針刺し・切創予防と皮膚・粘膜曝露予防』対策マニュアルについて 講師：感染管理認定看護師 下江 理沙
		14	第1回 西之表市医療人材養成推進協議会参加 (理事長、病院長、看護部長、副看護部長)
		18	第6回「生命(いのち)を見つめるフォト&エッセー」日本医師会・読売新聞社主催 理事長 田上 寛容先生『干支のぬいぐるみ』読売新聞社賞受賞
		20~25	特定業務従事者及び電離放射線業務職員健診
		20	医療安全研修会 『医療安全を支える知識と意識』～あなたはうっかりミスをしてないですか～ 講師：病院長 高尾 尊身先生
		27~3/20	eラーニング
		25	がんとともに生きる講演会 『がん患者会との関わりを通して伝えたいこと』 講師：NPO法人がんサポートかごしま 理事長 三好 綾様
		25	ナース専科就職ナビ合同就職説明会出席：博多
		3	3、4
	9		令和4年度 熊毛地区リハビリテーション協議会(当院)
	13		西之表保健所・熊毛地区医師会・1市2町行政合同新型コロナウイルス対策会議 感染防止対策向上地域連携カンファレンス
	13		退職講演会 糖尿病内科 中村 香織先生 消化器内科 田平 悠二先生 外科 飯尾 俊也先生 脳神経外科 山岸 正之先生
	14		種子島高校 島内企業説明会
	16		地域がん診療病院がん医療従事者研修事業 『がんリハビリテーションにおける目的と終末期にリハビリができること』 講師：リハビリテーション室 作業療法士 西 愛美
	20		公開講座 『介助の基本と実践』 訪問リハビリテーション理学療法士 田島 拓実
	20		退職講演会 小児科 森山 瑞葵先生 整形外科 澤園 啓明先生 消化器内科 篠原 宏樹先生 循環器内科 西 晴香先生 整形外科 黒島 知樹先生
	22		社会医療法人認定に係る実地検査
	23		「へいじろう」2023春 号外発刊
	24	感染対策向上加算1地域連携相互ラウンド 評価実施病院：独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター	
31	公開講座 『介助の基本と実践』 講師：田上診療所訪問リハビリテーション理学療法士 上原 瑞生		